

## 令和2年度 事業報告

公益財団法人亀岡市スポーツ協会は、「スポーツに親しみ、スポーツで笑顔、スポーツで元気な亀岡」の実現を目指して、市民スポーツの一層の推進と競技力向上のため諸事業を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ほとんどの事業が中止を余儀なくされた。

また、「京都亀岡ハーフマラソン大会」も同事情により中止とした。

### 【重点事項】

※事業の中止、縮小は、全て新型コロナウイルス感染拡大防止の事情によるもの。

#### 1 運営基盤の整備並びにスポーツ協会の機能の充実

諸事業の推進に必要な財源を確保するため、賛助会員を募り財源確保に努めるとともに、本協会が所有するスポーツ用具についても、使用料を徴収し、補修、補充等の経費とした。

また、公益財団法人として、市民が広くスポーツに親しみ、健康で豊かな生活を形成するための諸事業を計画したが中止及び縮小とした。

#### 2 市民スポーツの振興

かめおか市民スポーツフェスティバル、第69回平和祭市民スポーツ大会、第46回亀岡市民駅伝競走大会や各スポーツ教室を計画したが、中止及び縮小とし生涯スポーツの推進、市民の健康増進を積極的に図ることが出来なかった。

総合型地域スポーツクラブ活動に於いても活動の中止、縮小となった。

#### 3 競技力の向上

第43回京都府民総合体育大会は、市町村対抗競技が一部の種目では中止となったが、開催した種目は交流大会として実施した。

また、各競技においては、ジュニア選手を始め、多数の選手が出場する近畿大会や全国大会が中止となり、優秀な選手を輩出することが出来なかった。

#### 4 指導者の資質の向上と養成

指導者の育成と資質の向上を図るため、研修会(スポーツフォーラム)を計画したが中止とした。

#### 5 スポーツ少年団の育成と拡充

交流活動、社会奉仕活動を中止とし、子どもたちの「生きる力」を育む事業を実施出来なかった。

また、公認ジュニアスポーツ指導者並びにリーダーの育成する事業も中止とした。

#### 6 都市間交流事業の推進

京都市西京区と亀岡市の都市間交流事業の一環として、軟式野球、ソフトバレーボール、グラウンド・ゴルフ競技を計画したが、軟式野球のみ実施され、他2競技は中止とし、全ての競技を通して相互の交流を図れなかった。

#### 7 指定管理施設の有効活用

本協会が管理している社会体育施設については、常に施設を安全・安心で清潔な状態で利用者に気持ちよく使用できるよう維持管理に努めた。また、施設の老朽化に伴い、補修・改善を図ったが、施設利用に制限がかかり、稼働率の減少となった。